

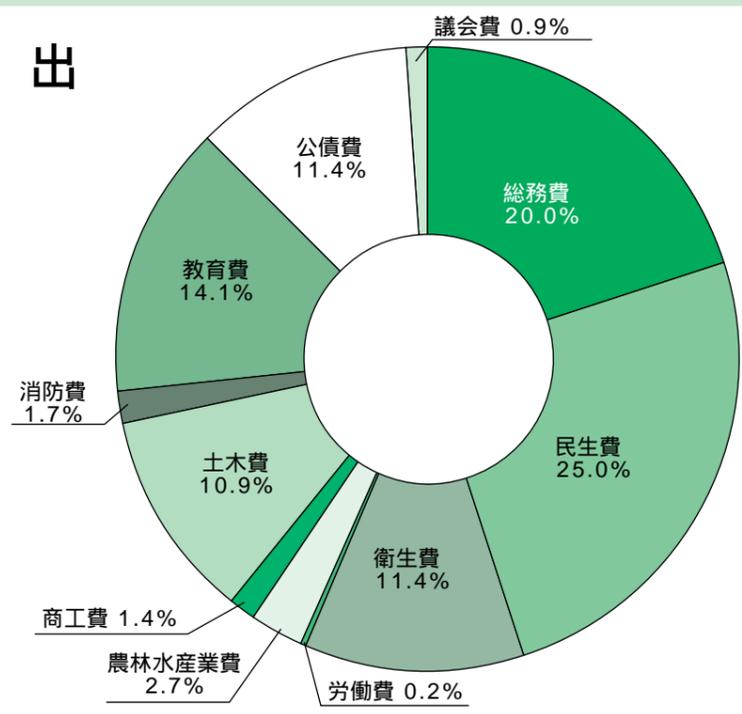
平成18年度は678億円

の予算でスタートします

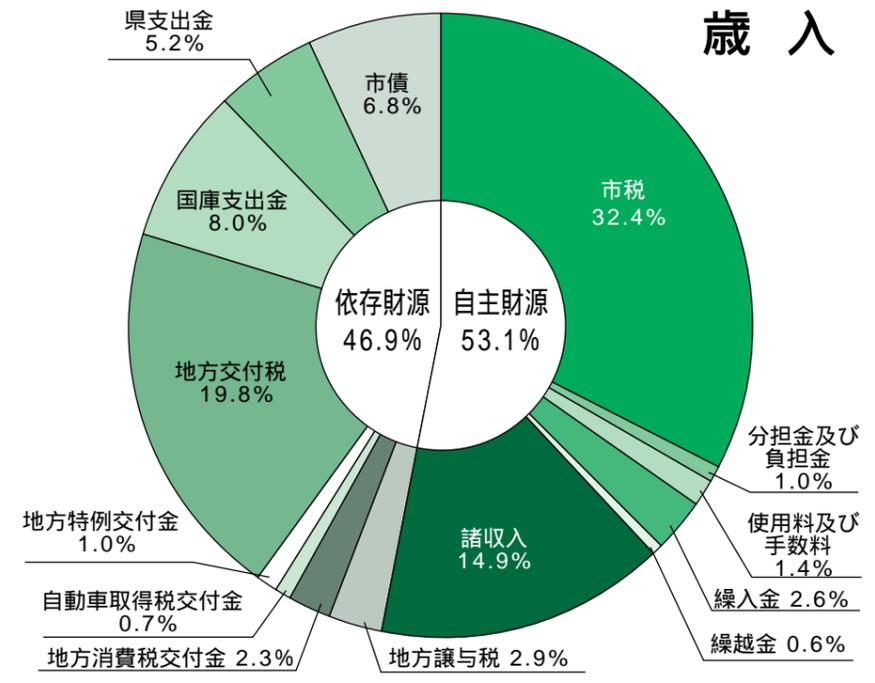
一般会計 316億円

H17当初比 6.5%減

歳出



歳入



平成18年度当初予算は、市長選挙等の関係で政策的な経費や投資的な経費を計上することが日程的に困難だったため、施設管理費や人件費などを計上する「骨格予算」としていません。

政策的な経費や、道路などの整備に係る投資的経費については、次回以降の議会に、上程していく予定です。

用語の解説（歳出編）

- 議会費 議会運営のために使うお金
- 総務費 戸籍、税務、選挙等や管理事務に使うお金
- 民生費 子どもからお年寄りまでの福祉に使うお金
- 衛生費 ごみ・し尿、保健衛生などに使うお金
- 労働費 働く人たちの福祉にかかるお金
- 農林水産業費 農業や林業、水産業の振興に使うお金
- 商工費 商工業の活性化や観光振興に使うお金
- 土木費 道路・河川や公園などの整備に使うお金
- 消防費 消防事務や消防団の運営に使うお金
- 教育費 学校教育や文化スポーツの振興に使うお金
- 公債費 市の借金を償還するために使うお金

用語の解説（歳入編）

- 市税 市民のみなさんに市民税や固定資産税などとして納めていただくお金
- 繰入金 積み立てているお金（基金）を取り崩したお金
- 地方交付税 国が集めたお金を全国の市町村の財政力に応じて交付されるお金
- 国庫・県支出金 特定の目的のために国や県から交付されるお金
- 市債 国や金融機関などから借り入れるお金。これには、一度に大きな負担をさけ、世代間で負担を調整する意味があります。
- 自主財源 市税のように自らの考えにより、収入となるもの
- 依存財源 国や県の考えにより定められた額を交付されたり、割り当てられたりするお金

- 骨格予算の主な内容
 - 1 義務的経費
 - 2 施設管理などの経常的経費（人件費、扶助費、公債費）
 - 3 法律の改正等により年度当初から対応が必要な経費（介護保険法・障害者自立支援法）
 - 4 既に議決されている継続費や債務負担に関する経費（長浜駅舎改築、長浜南小改築、防災行政無線の整備）
 - 5 幼稚園児殺害事件への緊急対応経費
 - 相談体制の強化（幼稚園・保育園）
 - 子育て相談員等を6名設置
 - 安心通園の確保（神照幼稚園）
 - 通園バスを2台運行
 - 家庭での子育て支援の強化
 - 家庭児童相談員を1名増
 - 子育て支援センターを1施設増
 - 放課後児童クラブを1か所増



2つの企業会計で142億円 (H17当初比3.2%減)

病院事業会計	びわ水道事業会計
収益的収支 134億5,000万円 (0.1%増)	収益的収支 1億4,570万円 (3.3%増)
資本的収支 6億340万円 (42.7%減)	資本的収支 4,400万円 (49.6%減)

9つの特別会計で220億円 (H17当初比5.0%減)

東上坂工業団地整備事業特別会計 300万円 (9.1%減)	浅井簡易水道事業特別会計 1億 4,100万円 (64.7%減)	農業集落排水事業特別会計 4億 6,400万円 (6.3%減)	公共下水道事業特別会計 31億 1,000万円 (41.8%減)	介護認定審査会共同設置特別会計 3,600万円 (56.5%増)	介護保険特別会計 47億 4,000万円 (15.1%増)	老人保健特別会計 70億 8,000万円 (9.0%増)	診療所特別会計 1億 5,900万円 (16.6%減)	国民健康保険特別会計 63億 900万円 (2.9%増)
-------------------------------------	---	--	---	--	--	---------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------